

新燕市長に小林清氏!

高橋氏に7,700票余りの予想外の大差で勝利



『皆さんにお約束申しあげたことは、きっちり成し遂げてまいります!』

燕市吉田法花堂の小林陣営の事務所では、午後二時半の中間発表で高橋氏との差が四〇〇〇票開いたと聞き、歓声と拍手で沸いた。十時四十五分ごろには「もう待つてられませんか」と、選対本部長の斎藤広吉市議の発声で万歳三唱した。小林氏は、「この大勝利は決してわたしの勝利ではありません、皆さんが押

上げていただいた」と涙を潤ませ、支持者に頭を下げた。さらに「この短い選挙期間でありますけど、皆さん方にお約束申し上げたことは、きっちり成し遂げてまいります」と決意を示した。

応援の県議らがあいさつするなか、三条市の高橋一夫市長が当選祝いに駆けつけ、「これから県央のことは、小林燕市長さんと一緒に頑張って、相談をしながらいく」と固く握手した。

一方、高橋氏は、柿木地内の事務所まで「力が及ばなかった」と支持者らに呼びかけ、感謝し、午後十一時過ぎに吉田地区と分水地区の同陣営の事務所に向かった。

開票の結果は、小林氏二、三、六七四票、高橋氏一五、九二三票、斎藤紀美江氏一五、九四七票、高橋氏は、同じ旧燕市を票田とした斎藤氏の票を上積みして、もわずかに小林氏の得票に届いたに過ぎない結果だった。

ケンオー・ドットコム



特集号

燕市長選挙開票結果

当☑林 清☑ 69☑23,674
 ☑高橋 甚一☑ 15,923
 ☑斎藤紀美江☑ 7,947



三条市議選の開票作業

一方で新人は五人とも当選。なかでもトップの得票を集めた現職の田中寿氏 65、二、九〇二票に次いで

当日の有権者数は八六、一八八人、投票者数は六一、四八六人で投票率は71.34%だった。合併後初の選挙で、三条区域十九人、栄区域八人、下田区域七人が立候補。有権者数の少ない、栄、下田区域は不利とされたが、下田区域の七人は全員当選、三条二人と栄二人の現職四人が落選した。

二番目は栄区域の新人、佐藤卓之氏 41、二、六九〇票、さらに三番目も新人の杉井句氏 44、二、六四三票と、新人の上位当選が目立った。

二番目は栄区域の新人、佐藤卓之氏 41、二、六九〇票、さらに三番目も新人の杉井句氏 44、二、六四三票と、新人の上位当選が目立った。



万歳する杉井氏の選対事務所

三条市塚野目六地内の杉井氏の選挙事務所では、午前〇時十分の四回目の中間発表のあと、集まった支持者らとともに万歳をして当選を祝っていた。

ケンオー・ドットコム

PC版: <http://www.kenoh.com/>

携帯版: <http://www.kenoh.com/i/>

メール: info@kenoh.com